

(2) 土地利用

本地域の土地利用は、住宅地が広がり、教育機関などの公共施設が東部に、商業・業務施設は東部、中部、西部など、全体にみられる。

住宅は、低層住宅が多く、中部、東部などには、中高層住宅が分布している。

工場は西部などに分布している。

公園は小規模なものが各地に点在している。

図 土地利用図



資料) 国土地理院

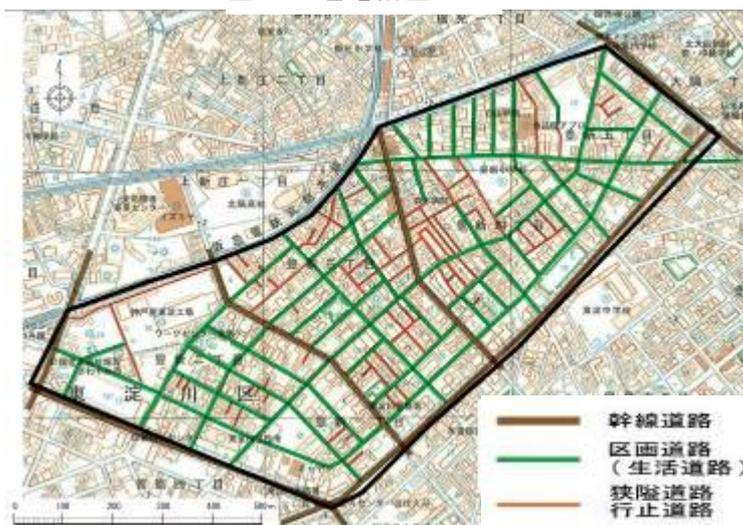
(3) 道路網

本地域の幹線道路は、大阪高槻線が南部を東西に通っている。本地域内には広幅員の幹線道路は少ない。

区画道路は、一般の生活道路で、乗用車の対向が可能な幅員の道路で、地域全体に格子状の道路網が形成されている。

きょうあい
狭隘道路や行止り道路は、乗用車の対向がしにくいかできない道路や袋小路となった行止りの道路で、中部、北部などにみられる。

図 道路網図



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

2-4. 災害予測

(1) 水害予測

① 淀川外水氾濫

淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は4m～5mで、この区域は、中部から西部や南部にみられ、東部では3m～4mの浸水深となっている。

収容避難所である豊新小学校は、2階まで浸水する予測である。

図 外水氾濫予測図(淀川)



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

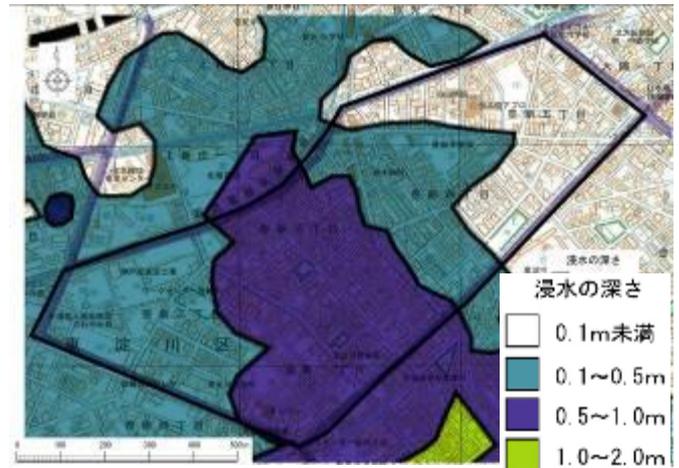
②神崎川・安威川 外水氾濫

神崎川・安威川の外水氾濫予測図では、本地域は、中部で1～2mの浸水が発生し、西部や東部で0.5m～1m、東部の一部で、0.1m～0.5mの予測となっている。

③内水氾濫

内水氾濫予測図によれば、本地域は、0.5m～1.0mの浸水深が中部から南部にかけてみられ、西部や東部の一部では0.1m～0.5mの浸水となる予測となっている。

図 内水氾濫予想区図



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

(2)地震予測

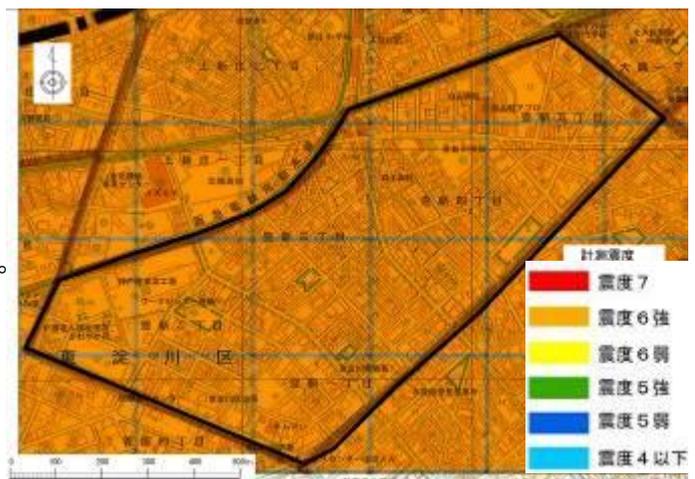
①震度予測

南海トラフの地震が活動した時の震度予測は、震度予測図によれば、本地域は全域が震度6弱の激しい揺れが発生するものと予測されている。

上町断層が活動した時には、全地区が震度6強の激しい揺れが予測されている。



図 震度予測図



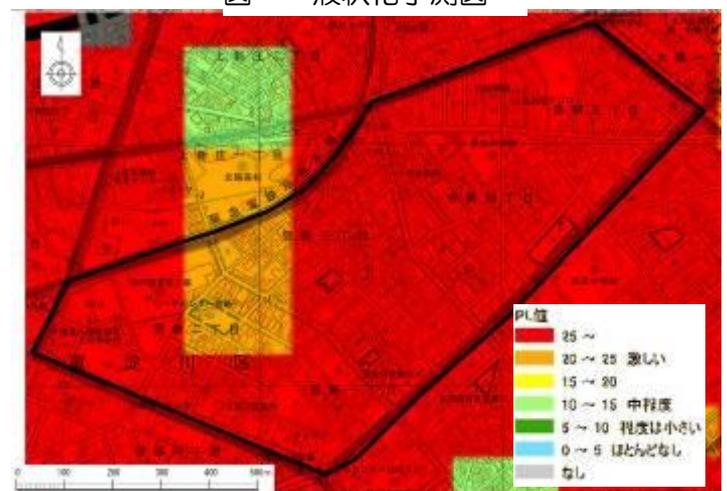
資料) 大阪府

図 液状化予測図

②液状化

地盤の液状化はその土地の地下に堆積する砂層の分布や固結度、地下水位などの状況により大きく変化する。

本地域の液状化の危険性は、全般に高く、液状化が発生しやすいと予測されている地区が広がっている。



資料) 大阪府

(3)南海トラフ巨大地震の予測